

私の政策

仕事に「やりがい」、暮らしに「生きがい」を

党東京都参議院比例区第48支部長

高階 恵美子 (51)



仕事には「やりがい」、暮らしには「生きがい」を合い言葉に、活動しています。

私は、地域保健を専門とする看護職で、急性期医療、保健所・精神保健福祉行政、研究生活を経て大学教育に従事し、厚生労働省でも8年余り、専ら現場一筋に働いてきました。

社会保障は人の暮らしと共にあり、幅広く奥深く、また常に新しい課題が出てきますので、今も勉強の毎日です。しかし大局で見ると、生活者の苦悩の背景に



厚生労働大臣政務官として関係委員会に臨む高階恵美子支部長。より丁寧に分かりやすい答弁を心掛けている

た。しかし、それまで毅然としてこの国の政治を担ってきたのは自民党です。私は信頼できる先輩たちの中に入れていただき、そこから新たな一歩を踏み出したと希望しました。

に迎えられ、楽しく・豊かに・堂々と暮らし、その人らしく尊厳ある最終段階を迎えることができたいと考えています。

高階恵美子(たかがい・えみこ) 理事。22年参院議員初当選。党東日本巨大地震緊急災害対策本部医療支援班長、党女性の健康の包括的支援に関するPT座長、党厚生労働部会長代理、党参院副幹事長、党参院国会対策副委員長を歴任。現在は厚生労働大臣政務官、党観光産業振興議員連盟事務局長などを務める。

高階恵美子事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参院議員会館714号室 TEL:03-6550-0714 FAX:03-6551-0714

ホームページ http://www.takagai-emiko.net/

国民一人ひとりが、楽しく・豊かに・堂々と暮らせる成熟社会を目指して

は、個人や近親者の努力だけでは防ぐことの難しい、複雑な社会病理が存在することも、徐々に鮮明となってまいります。

期に問題を克服して自立再生できるような支えることは、ますます重要な政策課題です。

ける所存です。それと同時に、今後のライフデザインのあり方についても、提案をしたと考えています。

その第一歩として、一昨年はDV防止法改正、中国残留邦人配偶者支援法に関わらせていただきました。また昨年は超党派で、女性の健康の包括的支援法を提出させていただきました。



4月の統一地方選では、公務・政務の合間を縫って全国を駆け回り、候補者と共に全力で戦い抜いた